2021年度 シラバス 日本工学院専門学校

#### 2021年度 日本工学院専門学校

#### CG映像科

# 制作特論1

対象	3年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	4
担当教員	大崎 裕伸			実務 経験	有	職種	映画プロデューサー				

# 授業概要

映画、映像の制作全工程をプロデューサーの視点で講義する。担当教員がプロデュースした作品の具体例を通して、学生が就職後、関わるであろう 業務やプロジェクト、クリエイティブについて、その対処方法、ポイントを学ぶことができる。各映像制作の収益構造、諸権利や契約等の法令、倫理 を履修し、映像クリエイターとしての心得を理解する。また、担当教員のプロデュースしたデジタル3D映画の具体例を学び、超臨場感エンタテイメ ントの現状と将来の拡張性を理解する。

### 到達目標

学生の就職後、映画、映像の制作、プロジェクト業務の全体を理解し、どのように働くかをイメージできるようになること。 学生の就職後、クリエイターとしての心得と留意点を理解すること。 学生の就職後、関わることになる各プロデューサーや監督、業務発注者は、何を望み、何を重視しているかを理解すること。 学生が、映画、映像作品を自ら制作、プロデュースができる知識を得ること。

# 授業方法

担当教員がプロデュースした各映画、映像作品の具体的な文書資料と映像資料を使い、そのプロデュースとクリエイティブのポイントを講義する。

#### 成績評価方法

授業時数の4分の3以上出席しない者は評価しない(不合格とする)。 試験・課題 70% 就職先へ提出する「志望理由」と「将来の業界予測と自分の役割」をテーマにした小論文 平常点 30% 講義への取り組み姿勢、態度、積極性で評価する。

#### 履修上の注意

卒業に向けて、就職先の業界、職種の基本的な情報を調べ、具体的な進路と自己の将来像をイメージして講義を受けること。 この講義用の綴じノートを用意すること。 授業中の私語や受講態度には厳しく対応する。

理由のない遅刻・欠席は認めない。

### 教科書教材

毎回授業にて資料の開示を行う。 参考書・参考資料等は授業中に指示をする。

回数	授業計画
第1回	映画プロデューサーについて:担当教員のプロデュース作品歴と概要、時代的背景、講義全体の説明と前提について
第2回	映画のプロデュース1:映画の制作全工程, 関連団体会社等の役割
第3回	映画のプロデュース2:映画の収益構造、諸権利、収益計算、具体例
第4回	テレビ番組のプロデュース:放送局の概要、関連会社の役割、収益構造、諸法令概要、配信等
第5回	PV等のプロデュース;関連会社の役割と関係、収益構造、プロデュースポイント(世界観、コンセプト等)
第6回	テレビゲームのプロデュース:ゲーム機の変遷、実写ゲームプロデュースの具体例

2021年度 シラパス 日本工学院専門学校

2021年度 日本工学院専門学校							
CG映像科							
制作特論 1							
第7回	映画プロデュース 企画:企画立案のポイント、関連法令、企画書の作り方と具体例						
第8回	映画プロデュース プリプロ:プリプロダクション ブレイクダウン、予定、予算、契約の具体例						
第9回	映画プロデュース プロダクション: プロダクション 制作プロダクションの変遷、制作の具体例						
第10回	映画プロデュース ポストプロ;ポストプロダクション 仕上げ技術の変遷、編集、音仕上げの具体例						
第11回	映画プロデュース 宣伝、セースル; 興行、配給、2次利用メディアの変遷、関連会社の役割、宣伝の具体例						
第12回	立体映像の原理と歴史;立体視の原理、錯視、五感、遠近法、立体映像技術の歴史						
第13回	デジタル3Dと映画音響;デジタル3Dの撮影、上映方式の技術概要、映画音響技術の変遷と概要						
第14回	デジタル 3 D映画プロデュース; デジタル 3 D映画、制作のポイントと具体例						
第15回	映画、映像プロデュース 総論;まとめ、総評、課題について						